



# 第90号

令和2年(2020年)

2月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

## 常任委員会の視察研修報告

古賀市の発展をめざしてスキルアップ 2～3p



常任委員会視察研修報告 2～3p

第4回定例会  
主な審議・補正予算、賛否一覧 4～5p

ここが聞きたい! 一般質問 6～11p

常任委員会報告 12～14p

新年のあいさつ・一部事務組合報告 15p

古賀市議会



# 常任委員会の視察研修

## 活力あるまちづくりをめざして

総務委員会

### 定住化促進（1JUトータルサポート）事業について

岡山県津山市

令和元年11月5日

人口減少時代を迎え、地方都市では高齢化や人手不足など多くの問題が顕在化しています。

津山市では定住化促進事業で先進的な取り組みを行い平成30年度までの3年間の移住者が各年度とも1000人を超える実績を残しています。

人口減少や少子化を食い止めながら人口構造を維持するために、まちの活力を創出する創生戦略を立てて、「津山ぐらし」の良さを活用する対策を実施しています。

新設した「仕事・移住支援室」を通じて縦割りの弊害を打破し、まさに「できる取り組みは全て行う体制」を作っていました。



### 地域公共交通網実施計画策定までの取り組みについて

香川県高松市

令和元年11月6日

古賀市は現在、利便性が高く、持続可能な公共交通網の形成に向け、古賀市地域公共交通網形成計画の策定作業を行っています。

高松市は鉄道とバス路線が並行している区間が多く、かつ運行距離が長いなどの問題点があり、将来的に利用者の減少や廃線の回避のために地域公共交通再編事業を行いました。

具体的には鉄道を基軸としたバス路線の再編により、持続可能な公共交通ネットワークを再構築し、電車とバスの乗り継ぎ割引、高齢者公共交通運賃割引制度、ICカードを活用した利用促進施策などの促進事業を行っています。



## ひとりの「生きる」をサポートするには

文教厚生委員会

### 「ヘルスアップ尼崎戦略事業」を学ぶ

兵庫県尼崎市

令和元年10月23日

第1段階として職員に対する生活習慣病対策の保健指導からスタート。次に、対象を国保被保険者へ拡大。特定健診受診率向上対策・未受診者掘り起こし、保健指導へ。さらに、若年層・予備軍対策を「尼っこ健診事業」として、11歳、14歳対象の健診をスタート。子どもの頃から予防にも力を入れていくことが大きなポイント。現在はヘルスアップ尼崎戦略推進会議を設置。市長を中心に、全市民に対する生活習慣病対策への推進に力を入れているとのこと。

対処から予防にシフトし、徹底した保健指導などに取組み、市民の健康と、医療費適正化に取り組みられていることに強く共感しました。



### 一人も取りこぼさず、断らない福祉を

大阪府豊中市

令和元年10月24日

千里ニュータウン開設から50年。高齢化が進み65歳以上の単独世帯が増加。市の66%が集合住宅、自治会加入者約40%というつながりが薄くなった状況で、阪神・淡路大震災の発災。社協で見守りを始めたものの、引きこもりも増え、ごみ屋敷などに対処する市の窓口がない。そこで地域福祉ネットワーク会議、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、SOSを出せない人にも、8000人の住民ボランティアとともに見守り家庭訪問し、声を拾う。「一人も取りこぼさない、断らない福祉を」と、一人が自立するまで徹底して関わり続ける。課題を見つけ、諦めない解決の姿勢を古賀市にも取り入れたいと思いました。



# 生物多様性とプラスチックごみゼロ宣言

市民建産委員会

## 生物多様性いたみ戦略について

兵庫県伊丹市

令和元年10月10日

伊丹市では、ほぼ全域が都市化し、多くの生き物が姿を消した。そこで、生物多様性の保全と再生の取り組みの推進のために、「生物多様性いたみ戦略」を策定しました。生物多様性を社会に浸透させるには、学校教育が重要との提言を受け、教育委員会と連携して平成27年3月に「小学校生物多様性副読本」を作成。29年度改訂版では、市内小学校3年生以上の全児童に配布され、授業に活用しています。この取り組みが高く評価されたのは、住民・企業など、市民協働による施策の点検・評価結果を計画や施策へ反映している点です。



## かめおかプラスチックごみゼロ宣言

京都府亀岡市

令和元年10月11日

亀岡市は、平成24年に内陸部の自治体で初めての「海ごみサミット」を開催し「母なる川・保津川」から海ごみを無くす取り組みを進めてきました。その後、2018年12月に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発表。マイバッグ使用率100%の目標や、公共施設にはウォーターサーバーを設置し、プラスチックごみなどの削減を進めています。現在、大手スーパーでレジ袋有料化がスタート、2020年度にプラスチック製レジ袋を禁止する条例の制定をめざしています。自然が多く残る古賀市も参考にすべきと痛感しました。



# 古賀市への視察受け入れ

## 議会改革 振り返りと交流で促進

議会運営委員会

## 常任委員会の複数所属等の議会運営

福岡県粕屋町議会

令和元年10月15日

常任委員会の数や複数所属、政務活動費や会派制、市制への対応等について視察に來られました。古賀市議会は全員が総務、文教厚生、市民建産委員会のいずれかに所属。その上で、議会報編集常任委員会に所属する議員だけは複数所属となっています。任期はいずれも4年間。所管事務調査や委員会としての提言等の充実はとても重要な課題です。

古賀市議会は市制施行後も会議規則は町議会の準則のままでしたが、議会基本条例制定後に全面改正し、議案の委員会付託、発言通告制、自由討議のルール等を盛り込みました。



## 政策推進会議や自由討議の進め方

茨城県鹿嶋市議会

令和元年11月12日

政策推進会議の政策課題選定、議員間の自由討議、看護大学とのパートナーシップ協定等について視察に來られました。古賀市議会の政策推進会議は特徴ある取り組みです。テーマは、発表会を実施し、役員会が選定し全体会で決定しました。

自由討議は、議長・委員長が必要と認めたとき、または動議が出たときは会議に諮って行うことができます。古賀市議会では常任委員会や特別委員会で行ったことがあります。

鹿嶋市議会の皆さんからは議会による事務事業評価の経験を学ぶこともできました。



71号  
議案

## これからさらに市と地域のパイプ役が重要に 行政区長・隣組長が「特別職」から「私人」へ

地方公務員法の一部改正により、行政区長等は「特別職」から「私人」へ任用形態が変更になります。

市から委嘱する業務内容や報酬額の変更はありませんが、これまで公職選挙法で禁止されていた選挙運動は適用の対象外になります。

また、公務災害の対象から外れますが、今後は活動中の事故に対応する保険に加入予定です。



主な  
審議

第4回  
定例会  
(12月3日～18日)

付託▽

総務委員会  
賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

主な審議・補正予算

68号  
議案

## 古賀市職員の分限に関する改正

### 不当な差別をなくして

成年被後見人等であることを理由とした不当な差別を排除するための条例改正です。



付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

79号  
議案

## 介護予防支援センター「りん」の管理は

### 今までと同じ豊資会に

変更点は、指定管理の期間が、5年から3年になりました。



付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

72号  
議案

## 水道課でのコピー料金の変更

### 資料要求に対応するため

カラーコピー片面 A3 サイズ以内 50 円、白黒片面 A3 サイズ以内 10 円になります。



付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

80号  
議案

## 玄望園の名称はそのままで

### 使い慣れた地名を生かし

玄望園という名前を残したいという要望により、新たな町名に設定されました。



付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

73号  
議案

78号  
議案

## 平成 31 年度の補正予算

## 健康に関する補正予算と債務負担行為

一般会計では、健康推進事業費や、児童の健診データバンクシステム改修委託費の他、第5次総合計画のプロポーザル選定については債務負担行為が提出され、自由討議の後、修正案が提出。賛成少数で否決され原案の通り可決されました。 **6億7,284万2千円の追加**

補正  
予算  
(12月11日)

第4回  
定例会

特別  
会計

国民健康保険

6,411万7千円を追加  
国保システムの改修

後期高齢者医療

5万4千円を追加  
職員2人分の人件費

介護保険（保険事業）

105万6千円を減額  
職員15人分の人件費

介護保険（サービス事業）

32万7千円を減額  
短時間勤務職員の手当

水道事業

会計 (収益的支出) 41万5千円を追加  
職員人件費

下水道事業（収益的収入）

会計 (収益的支出) 1,239万1千円を追加  
1,570万9千円を追加  
平成30年度消費税還付および納付額

一般会計  
賛成多数  
特別会計  
賛成全員  
本会議  
賛成全員  
可決

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トシオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明	
67	専決処分（道路管理瑕疵に係る損害賠償）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	古賀市職員の分限に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	古賀市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	古賀市水道事業給水条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	平成31年度古賀市一般会計補正予算（第3号）	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	平成31年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	平成31年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	平成31年度古賀市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	平成31年度古賀市水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	平成31年度古賀市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	古賀市介護予防支援センターの指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	町の区域の設定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

陳情

元年陳情6

「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに、「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める自治体意見書採択についての陳情書

陳情者

福岡市博多区博多駅南1-2-3-8F

福岡県保険医協会 会長 林裕章

元年陳情7

学校教材の計画的な整備推進について  
のお願い

陳情者

東京都港区虎ノ門3-10-11

虎ノ門PFBビル

一般社団法人 日本教材備品協会

会長 大久保昇

元年陳情8

治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を支持し、政府に対し意見書提出に関する請願書

陳情者

福岡市中央区大名2-2-51

第二吉田ビル403号室

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

福岡県本部長 石村善治

ここが聞きたい!

一

般

質

問

古賀市の防災計画の行方は

井之上 豊 6ページ

10年後の古賀市をどう変えるのか

内場 恭子 7ページ

①市民が参加しやすいコミュニティに  
②子育て中の親に安心・安全な暮らしを

紙谷 由香 7ページ

①「互いに認め合うまちづくり」の推進を  
②関係人口を生かし「まちづくり」を

田中 英輔 8ページ

自治会から消防団に対する寄附金(協力金)の廃止と対応策について

村松 謙二 8ページ

①古賀市名誉市民条例の運用 ②薬王寺水辺公園の利用  
③古賀中学校通りの拡幅

吉住 長敏 9ページ

市のスポーツ振興策について

古賀 誠視 9ページ

地域福祉の推進のために

伊東 洋子 10ページ

自治会と行政の連携について

福崎 トビオ 10ページ

令和2年度予算編成方針に問う

平木 尚子 11ページ

①子ども特定健診と在宅医療～2020年度に確かな一歩を  
②対話によるまちづくり～市民の学び、選択、実践へ

奴間 健司 11ページ

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。  
一人30分(答弁を含まず)の持ち時間で質問します。  
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。  
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、インターネットで視聴できます



一般質問



井之上 豊 (公明党)

## 古賀市の防災計画の行方は

答 備えることが自治体の責務と改めて認識

議員 今回の台風は古賀市としてどの

ように捉えたか。

備えることが自治体の責務であると改めて認識した。

市長

議員 古賀市が被災地へ職員派遣できないか。

市長 被災市区町村応援職員確保システムの調整、災害時相互応援協

定などによる要請のいずれもないことから、人的支援は行っていない。

議員 古賀市防災計画の見直しはどこ

まで進んだか。

市長 昨年5月に修正された県地域防

災計画および本年5月に指定された大根川洪水浸水想定区域

などとの整合性をとりつつ、今年度中をめどに修正と見直しを行

議員 災害時における通信手段として

WiFiが有効と思われるが、いかがか。国の動向を見極めて研究する。

議員 防災マップを利用し避難経路の

勉強会をしてはどうか。

避難経路の考え方を学ぶ機会として自主防災連絡協議会などに

おいて実施するよう検討したい。

市長

議員 防災士の今後の在り方について。

減災と防災力向上のために活動に寄与していただくことを期待

している。積極的に地域の自主防災組織の活動、および市が実

施する防災に関する施策に協力いただけるものと考えており、

そのため積極的な情報提供に努めていきたいと考えている。

古賀市総合防災マップ





内場 恭子

## 10年後の古賀市をどう変えるのか

**答** 市民と意見を交換し課題を共有していく

**議員** 人口減少が懸念される。目標は。

**市長** 古賀市の人口は微増中。少子高齢化の影響はある。

**議員** バランスの取れた政策を。高齢化への対応は必要。高齢者生活を支えるための公共交通対策は。

**市長** 地域公共交通網計画を進めている。将来にわたり持続可能な公共交通をつくっていく必要がある。

**議員** 市民の声を聞いたなら実践を。

**議員** JR古賀駅東口周辺の開発

**議員** JR古賀駅東口周辺整備の完成までのスケジュール感は。費用の総額はどのくらいか。

**市長** 古賀駅周辺のにぎわい創出を進める。10年単位。地権者もあり、明言できない。民間活力を使う。将来への投資だ。

**議員** JR古賀駅東口周辺の開発だけ進めばよいのか。

**市長** まちづくり全てが大事だと思う。

**議員** 古賀西小学校そば、西鉄宮地岳

**議員** 線跡地に中村哲さんの記念碑を立ててほしいという市民からの提案があるが、実現できないか。

**市長** 中村氏の功績・意思をつなぐことは大切。庁内に何らかの形で実現できないかと指示をした。

**議員** 地球温暖化対策への取り組み

**議員** 災害時の避難所になる小・中学校、地域公民館などに太陽光発電と蓄電池を設置すべきだ。

**市長** 温暖化対策はさまざまある。リサイクル推進の取り組みを検討中。

**議員** プラごみ削減の施策を進めるべきだ。回収場所も足りない。

**市長** 市役所環境課前のプラごみ回収ボックスを拡大

**議員** 線跡地に中村哲さんの記念碑を立ててほしいという市民からの提案があるが、実現できないか。

**市長** 中村氏の功績・意思をつなぐことは大切。庁内に何らかの形で実現できないかと指示をした。

**議員** 地球温暖化対策への取り組み

**議員** 災害時の避難所になる小・中学校、地域公民館などに太陽光発電と蓄電池を設置すべきだ。

**市長** 温暖化対策はさまざまある。リサイクル推進の取り組みを検討中。

## 一般質問



紙谷 由香  
(市民クラブ)

## 市民が参加しやすいコミュニティに

**答** 支え合い助け合いの体制を構築

**議員** 地域コミュニティの現状把握と課題についてどう考えているか。

**市長** 地域コミュニティを取り巻く現状は、複雑・多様化した課題が増加していると認識している。自助という意識をしっかりと持っていたら、それを地域の中で広げることが最も重要だと考えている。

**議員** ご近所カフェをもっと積極的に仕掛けてはどうか。

**議員** これは自主的にされているものなので、定期的にご近所カフェ連絡会を「ゆい」で開催し、当事者同士の不安や疑問などに対してアドバイスできるような支援を今後も続けたい。

**議員** 地域コミュニティと行政をつなぐ役割が必要ではないか。

**保健福祉部長** 地域コミュニティの在り方を考えていく上で、また今後活性化を図っていく上で、ソーシャルワーカー等を配置して地域が

**議員** 主体的に課題を見だし、それを解決していくといった地域コミュニティをめざし進めている。

**議員** 子育て中の親に安心・安全を

**議員** 保育料無償化の影響は。

**市長** 待機児童ゼロを掲げているが、制度がスタートした時点で、待機児童が生じるであろうと予見していた。しかし、自治体が対応しなければならぬことなので、次年度当初に何とか保育ニーズに応じられるよう取り組みたい。

**議員** 地域コミュニティの防災訓練

**議員** 主体的に課題を見だし、それを解決していくといった地域コミュニティをめざし進めている。

**議員** 子育て中の親に安心・安全を

**議員** 保育料無償化の影響は。

**市長** 待機児童ゼロを掲げているが、制度がスタートした時点で、待機児童が生じるであろうと予見していた。しかし、自治体が対応しなければならぬことなので、次年度当初に何とか保育ニーズに応じられるよう取り組みたい。

**議員** 地域コミュニティの防災訓練

**議員** 主体的に課題を見だし、それを解決していくといった地域コミュニティをめざし進めている。

**議員** 子育て中の親に安心・安全を

**議員** 保育料無償化の影響は。

**市長** 待機児童ゼロを掲げているが、制度がスタートした時点で、待機児童が生じるであろうと予見していた。しかし、自治体が対応しなければならぬことなので、次年度当初に何とか保育ニーズに応じられるよう取り組みたい。

**議員** 地域コミュニティの防災訓練

**議員** 主体的に課題を見だし、それを解決していくといった地域コミュニティをめざし進めている。

**議員** 子育て中の親に安心・安全を





田中 英輔  
(山海会)

## 多文化共生のまちへ指針・計画の整備は

**答** 第5次総合計画に盛り込むなど検討する

**議員** 古賀市には本年9月で772人

(34カ国)の外国人市民が居住されている。生活支援などはどう取り組まれているか。

**市長** 意思疎通に英語版ごみ出しパンフレット、携帯翻訳機などを配置するなどを行っている。

**議員** 市広報紙などの言語や情報への対応も必要ではないか。

**総務部長** ホームページは多言語対応だが、添付資料などを検討したい。

**議員** 外国人市民が地域に溶け込むツールとなるよう検討を求める。子どもの就学状況、日本語が十分でない児童生徒への対応は。

**教育長** 8カ国25人で、全ての子どもが就学している。うち14人に県費や市費で教員・講師を派遣し日本語指導を行っている。

**議員** 就労支援の取り組みはどうか。

**市長** 職業紹介・キャリアアカウンセリング等を行っている。今後とも言語など適切に対応したい。

**議員** 労働法違反行為などさまざまな問題がある。相談体制が必要では。

**商工政策課長** 相談は内容を確認し、然るべき機関に情報を提供する。

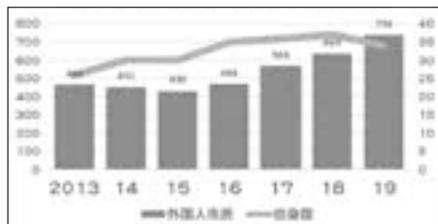
**議員** 市長は多文化共生を根付かせる、と述べられている。指針・計画の整備が必要では。

**市長** 2020年度以降庁内の体制強化を検討し、策定中の第5次総合計画に「多文化共生」を盛り込む。古賀市独自の多文化共生推進プランを検討する。

その他の質問

関係人口を生かし「まちづくり」を

古賀市在住外国人と出身国の推移



村松 謙二  
(市民クラブ)

## 消防協力金の使途は、住民に公開すべきでは

**答** 地域の自治会の中で判断されるべき

**議員** 地域のために使命感を持って活動を行う消防団と団員は、地域防災の要であることを十分認識した上で質問する。毎年、自治会が地域住民に対し、消防協力を金として区費や組費と一緒に集められ、地域管轄の消防分団へ支払われているが、市の組織である消防団への寄附金について、他の自治体では違法と指摘されている。市の見解は。

**市長** 協力金は消防事務(消防活動)を行う市の組織である市消防団に対して支払われたものではなく、地域のさまざまな行事の担い手として、各地域を管轄する分団に支払われているものと認識している。自治会からの寄附金等は地域活動に対して自治会の思いとして、地域の分団に活動の補助やねぎらいの趣旨で支払われている有志の集団に対するものであることから違法とは

**議員** 考えていない。

**議員** 住民から「何に使われているかわからないのに支払う必要はあるのか」と相談があった。市の見解は。

**市長** 各地域における自治会の中で判断されるべきものと考えます。

**議員** せめて支払ったお金が何に使われたか、少なくとも年度初めの総会で、住民に対し報告や説明を行うべきと思う。その方がむしろ分団員の成り手がいないとか経費のやりくりなど課題についても理解を得やすいと思う。

地域の防災・防火の要、消防団





吉住 長敏

## 未来志向の名誉市民条例へ

**答** 必要性有り無しを検討へ

**議員** 過去、首長経験者2人以外に検討したことはあるか。

**総務部長** 知っている範囲ではない。

**議員** 選定について平成2年の議会でもかなり紛糾した経緯がある。福岡市でさえ一般議決だ。3分の2の特別議決で提案をためらったのではないか。さらに個人や物故者への尊厳を思うとこの場でのあからさまな議論は適切か。仮に否決の場合等を思うとこの機会に抜本的な見直しが必要と思うが。

**市長** 条例を使いやすく対象となる人の広がりをもこの場でも提供しやすくすべき趣旨かと思うが、現条例には妥当性があると思う。

**議員** この場合、過去の歩みの振り返りが大事。今回は明るい福岡堅樹選手の事例があり、また前々市長のときこの場でも中村哲医師の名誉市民を十分に念頭に質問した。未来志向の条例とすべ

きでは。

**市長** 中村氏は人道上的の見地からも世界的に模範とされていると認識。「ここで育ち、ここが私の原点だ」と語ってくださった。市としてしっかりと顕彰する重要性を認識している。検討過程でその手法や条例を変える必要有り無しやは、しっかり考えたい。

**議員** 民法も40年ぶりに大改正された。古賀市の弾みにしていく方向で大所高所から検討を望む。

※その他の質問

薬王寺水辺公園の利用

古賀中学校通りの拡幅

ワンチーム立役者の福岡堅樹選手



古賀 誠視  
(市民クラブ)

## スポーツ協会への財政・人的支援は

**答** スポーツ協会の円滑な運営に支援が必要

**議員** スポーツ振興基本計画・後期アクションプランの評価と課題は。

**教育部長** スポーツ実施率が30・7%から36・9%に向上し、子どもの体力も県平均を上回った。ただ、スポーツをやらない子どもも増えている。

**議員** 子どもたちが利用する公共施設の、利用料金の減免が廃止とのことだが、子どもたちのスポーツ推進のためにも減免を続けるべきだ。

**市長** 受益者負担が原則であり、公平な負担が妥当。こども料金は半額を考えている。

**議員** ししぶ児童センターを利用する子どもたちの遊び場の日吉公園に、バスケットゴールの設置を。

**都市計画課長** 地元の要望を受けた上で、協議をしていく。

**議員** 福祉センターのゲートボール場が多目的広場となり、コートが荒れている、人工芝にしてほしい。

**福祉部長** 多目的となり、地域の方の利用もあり、人工芝にすると利用が限定される。

**議員** 市民スポーツを活性化させるためには、スポーツ協会への財政や人的支援が必要ではないか。

**教育部長** スポーツ大会の運営や、研修会の開催、市民体育館の管理業務などを委託しているが、今後、スポーツ協会の円滑な運営ができるように、支援を行う必要がある。

子どもの夢を砕く施設利用料減免廃止案





伊東 洋子  
(山海会)

## 地域福祉を推進し、頼り合えるまちに

**答** 地域課題を発見し解決に向けて取り組む

**議員** 平成31年3月に示された第2期古賀市地域福祉計画の目的は、

**市長** 地域住民の参加で、生活課題を明らかにし、解決に向けて施策や体制整備に取り組み、地域福祉を推進していくもの。

**議員** 人と人のつながりが希薄になってきている中で、みんなが助け合い支え合える体制づくりをどう進めるのか。

**市長** 市民に地域福祉の担い手としての意識を持ってもらうとともに、行政が認知症、生活困窮、虐待、引きこもりなどさまざまな課題にワンストップで対応できる体制をめざす。

**議員** 住民と共に地域課題の発見・解決に向けて、寄り添い支援していくコミュニケーションソーシャルワーカー配置の検討、進捗は。

**市長** 2023年度までをめどにソーシャルワーカーの配置を検討する。8050問題と社会問題にも

**議員** 8050問題と社会問題にも

**市長** 8050問題と社会問題にも

**議員** 8050問題と社会問題にも

地域で助け合い、支え合える古賀市に



なっている引きこもりについての相談体制と支援策は。

**市長** 福祉課の生活再生担当窓口で、受け付けし相談支援員が訪問。継続的に支援している。

**議員** 厚労省も引きこもりを中心に複合的な問題に対応できるように制度の縦割りをなくし、窓口を一本化する自治体を財政面で支援する方針を示している。古賀市も取り組むべきでは。

**市長** できるだけ早く包括的な相談支援に向けて取り組んでいく。



福崎 トビオ  
(自由クラブ)

## 自治会と行政の連携について

**答** 相互に協力関係であることが重要

**議員** 「広報こが」などの行政文書が配布されていない家庭があるが。

**市長** 未配布の連絡があり次第、直ちに配布するようにし、再発防止に努めている。

**議員** 回覧板の回数が減少したことで地域間の情報共有が弱くなっているのではないか。

**コミュニティ推進課長** 地域情報の回覧回数は各行政区独自で、と具体的には伝えていなかった。

**議員** 地域の情報共有の手法として、回覧板の活用を改めて行政区長に説明することを願う。

**市長** コミュニケーションの手段として積極的に活用していただけるようお伝えする。

**議員** 情報発信で有効なことは何か。

**市長** さまざまな媒体の活用と発信。古賀市の情報を市民に一斉メール発信するような手法はどうか。

まずは全市民対象の前に、行政区長との連携で使えないか。

**市長** 先行事例の研究にもそのアイデアはつなげていきたい。

**議員** 改めて問う。「オール古賀」とは。

**市長** 多くの意見があるが、行政はどこかで判断しなければならぬ。そのため意見を聞く努力。民主主義の世界を実現したい。

**議員** 市長が一人で行動しているだけではオール古賀とは言えない。議員にも市民にも「一緒にやりますよ」と表現することが必要ではないのか。

**市長** 多くの方々にご協力いただける努力をしたい。

确实、効果的な行政情報発信を





平木 尚子  
(公明党)

## 令和2年度予算編成方針に問う

**答** それぞれ検討、推進など対応

**議員** 「読書バリアフリー法」についての取り組みは。

**市長** 令和元年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」いわゆる読書バリアフリー法が施行された。本市では法律の施行前から支援の取り組みを行っているが、今後国の基本計画の策定や国、県の動向を踏まえ、ニーズに応じた読書環境の整備について検討していく。

**議員**

および社会福祉活動に対する支援の一助として運営されている。多文化共生で、海外の方も住みやすくなるための取り組みは。

**市長**

自治会と行政の間で問題意識の共有化を図り、地域の中で共生をどう進めていくかを考えたり外国人を雇用している企業と行政の連携を図り、日本の習慣や文化、暮らしについて理解してもらええる場を作ることが必要。来年度以降、今以上の取り組みを推進できるよう、庁内での体制の強化も検討している。

**市長**

障がい者や高齢者の外出を促進することは、地域参加のきっかけや地域とのつながりづくりに重要。外出を支援することは、地域福祉の推進につながると認識。社会福祉協議会のバスについては地域福祉の推進を図るため、社会福祉を目的とした事業

外国の方にもわかりやすい看板



一般質問



奴間 健司  
(友和)

## 総合計画策定にワークショップの追加採用を

**答** 重い提案、貴重なご意見として承る

**議員** 総合計画策定に向け、市長が行っている対話集会が終了する2020年6月以降、市民ワークショップを追加してはどうか。

**市長**

貴重なご意見として受け止める。ワークショップとは、ファシリテーター（進行役）の進行で、市民と市長および市民相互の意見交換、ならびに多様な共同作業を行い、一定の合意形成を図る会議。対話集会と区別して取り入れている自治体があるがどうか。

**議員**

ワークショップでめざすべきものを対話集会等の手法でめざすことができればそれでよい。福津市も実施している。取り入れない自治体のほうが珍しい。ワークショップの力に着目すべきではないか。

**市長**

現在の対話集会は総合計画に意識を持ってもらう上で有意な手法と認識している。

**議員** これから固める総合計画策定業務委託の仕様書にワークショップ実施とファシリテーター委託を盛り込むことを強く求める。

**市長**

ワークショップの手法を取り入れるかどうかは重い話なので、貴重なご意見として受け止める。

**議員** 来年度から子ども特定健診を

9月議会で意義を確認した子ども特定健診・血液検査を2020年度から具体化してほしい。

**市長**

法的に義務付けられているものから優先的に実施し、その後しかるべきときに検討したい。来年度の施政方針を注目する。

**議員**

### 総合計画策定と市民ワークショップ

対話集会に追加して実施を

- ① 現計画の振り返り  
古賀市の課題の共有
- ② 10年後、20年後の  
目標、まちの姿
- ③ 目標実現のために  
私たちができること

基本構想審議会に  
結論を提出

# 総務

## 委員会

11月7日

委員長 内平晃一  
清原 哲史 吉住長敏  
副委員長 井之上豊  
村松謙二 田中英輔

### 防災訓練と 防災計画の見直し

**問** 防災訓練時の避難ルートの選定は。

**答** 自主防災組織ごとに防災マップを使い選定。

**問** 防災計画の見直しの進捗状況は。

**答** 県から示された洪水の新想定、津波や高潮などの被害想定に基づいて確認作業中。



総務課

### まちづくり出前講座



**問** まちづくり出前講座は125件とあるがどのような内容なのか。

**答** 1位が「介護予防運動体験講座」。2位が「測って確認自分の健康」。3位が「市長との対話集会」「お口の健康づくり」「ボールゲーム体験」。

コミュニティ推進課

### 令和2年度予算編成方針

**問** 財政状況の推計では、個人・法人市民税は過去5年、歳出の扶助費も過去5年の伸び率による推計とあるが、市税の場合は転入などにより税収が増えている。また、扶助費も高齢化の進展により伸びているのか。

**答** 市税については、過去5年を見るのが適切。扶助費については、過去5年の伸び率を基本にさまざまな諸条件等を加味した額になっている。

**問** 今後の財政状況の見通しに対し市長の見解は。

**答** 令和5年度から、マイナス決算となるので、令和2年度は、予算編成の見直しなども意識する。

財政課

### 地域公共交通の今後は

**問** 西鉄バスの利用者が1万人減となっているが、対策はあるのか。

**答** 利用者が減少しているが、料金収入はそこまで落ち込んでいない。推移を注意深く見て対策を考えていく必要がある。

**問** 暮らしと公共交通を語る会があったが、市民の関心もあることから、今後どのような取り組みをするのか。

**答** 地域対話集会は、コガバス沿線の行政区を対象に実施。



経営企画課

# 文教厚生

## 委員会

10月21日  
11月1日

委員長	平木 尚子	顧問	奴間 健司
副委員長	伊東 洋子	福崎 トビオ	
		松島 岩太	
		紙谷 由香	

### 学校施設長寿命化

#### 計画について

空調設備整備の前倒しはあったが、全学校のトイレの洋式化などの全面改修は令和9年度までと、変更はないとの報告がありました。

**問** 学校トイレの改修について、期間短縮は難しいのか。

**答** 大規模改修や外壁などの老朽化対策も考えているため、やむを得ない。学校ごとの異なるトイレ配置や整備内容、ユニバーサル化も含めて整備していくため具体的な改修内容については検討していきたい。

教育総務課

### 市内運動施設の減免制度の見直し

#### 減免制度の見直し

市内運動施設において、今後は公平性を確保するため、減免基準を統一することとし、現行の減免制度は受益者負担の原則に基づき廃止とすることを検討しているとの報告がありました。

運動施設を利用する中学生以下の団体については、こども料金として現行の半額程度の料金設定を考慮しているとのこと。



生涯学習推進課

### 保育料無償化による影響は

#### 影響は

**問** 待機児童についての今後の見通しは。

**答** 保育料無償化の影響で、早い時期から1、2歳児の入所希望が増え、保育士不足がより深刻となった。保育士確保に向けて、各園引き続き取り組んでいる。来年度も待機児童ゼロを維持していきたい。

### これからの子ども発達ルームは

**問** こども発達ルーム委託についての保護者の反応は。

**答** 保護者からの否定的な意見は出ていない。現在の療育や体制は今後も変わらない。公募による選定の結果「株」の「色」に決定した。

子育て支援課

### 考えてみよう介護予防

**問** 粕屋地区在宅医療・介護連携推進事業の住民講座の狙いは。

**答** 一人一人が考えるきっかけとなるように、市民全般、福祉会など全体で考えてもらうことが狙い。



**問** 第8期介護保険事業計画に向けた、高齢者実態調査はなぜサンプル調査なのか。

**答** 税金を有効に使う上で最も良いやり方を検討した結果、質問には主観的幸福感などの調査項目も入れる予定。

介護支援課

# 市民建産

## 委員会

10月31日  
11月 5日

委員長 中野 敦史  
古賀 誠視 渡 孝二  
副委員長 森本 義征  
内場 恭子 竹下 司津男

### 古賀駅東口の 開発については

JR古賀駅東口周辺地区におけるまちづくりの検討に関して、古賀市とニビシ醤油株式会社との協力協定が締結されました。

**問** 開発区域をもっと広く検討する必要があるのでは。

**答** 広い区域を対象に検討し、前に進まなかった過去の経緯があり、今回は区域を絞り、できることから進めていく。



都市計画課

### 桜が伐採されたこと



大根川堤防沿いの桜の木が伐採され、多くの市民から苦情が相次ぎました。

**問** その経緯は。

**答** 地元から木に空洞ができ危険ではないかとの通報があった。また、隣接地から枝が越境し車に当たるため対応してほしいとの要望。これを踏まえ行政区からも伐採の要望書が提出された。

建設課

### 日本オープンゴルフ 選手権で古賀市のPR

第84回日本オープンゴルフ選手権が令和元年10月17日から20日までの4日間古賀ゴルフ・クラブにおいて開催されました。

**問** その評価は。

**答** 古賀市や市の物産などを全国にアピールする非常に良い機会となった。



日本オープンゴルフでの出店の様子

商工政策課

### ふるさと納税について

**問** ふるさと応援寄附の見込みは。

**答** 前年度(約10億円)並みの金額を目標として考えている。



商工政策課

### 空き家率の増加について

**問** これからの対策は。

**答** 空き家の位置を正確に把握するための取り組みを検討。



都市計画課

11月19日、福岡県自治会館にて、「町村議会広報研修会」が開催されました。

講師に、議会広報サポーターの芳野政明氏。



午前中は

◆「議会だより」が読まれ、伝わる住民の関心高め、参加促す情報共有を、議会報の基本と編集く」のテーマで議会報の役割を学びました。

午後からは

◆「議会報クリニック」  
実際の近隣の議会報を使って詳しい説明がありました。  
大変勉強になり、これからの議会報作成に役立てていきます。

新年のあいさつ

議会改革に行動する議会をめざします

古賀市議会 議長

明けましておめでとうございませす。「令和」初の議員19人が初議会に臨みました。本年は古賀市10年先を見据えた都市計画や第5次総合計画の草案、審議の重要な年であり議論を重ね「躍動する古賀」をめざします。

また、議会では各議員の言動の見える化のため、積極的に議会報告会や議会中継・録画配信等改善

を行います。

今期も多くの地方議会から視察が予想され、相互研修で研鑽を重ね議会改革に行動する議会を進めます。

今年も皆さまにとり素晴らしい年であることを祈念いたします。



一部事務組合報告

議長 結城 弘明

粕屋北部消防組合

令和元年12月13日に第2回定例会を開催。平成30年度一般会計決算の認定および休日診療所事業会計の認定の審議がありました。歳入分担金では古賀市が約6億1300万円、新宮町は3億9500万円、消防ポンプ車売却で約150万円や手数料、広域助成交付金等で総額12億3300万円。歳出は92人分の人件費、庁舎管理や消防指令共同運用等総額12億2000万円。賛成全員で認定。職員採用は5人合格。

休日診療所

決算では、歳入は分担金および診療費等で3700万円。主な歳出は報償費などの管理費で約2800万円。いずれも賛成全員で認定。



玄界環境組合



令和元年11月18日第2回定例会を開催。平成30年度の決算審査では、歳入総額は約38億4100万円、歳出は37億5400万円を賛成全員で認定。また、じん芥処理場使用料が改定され、令和2年4月1日より自己搬入は、10kgごとに140円を170円に改定。理由は福岡市の水準に合わせたとのこと。

# 小学生議場見学会



冬休みに入って、12月26日、令和元年度古賀市小学生議場見学会が開催され、8人の小学生が参加しました。

開催に先立ち、田辺市長、結城議長からのあいさつや、議会のしくみや税金についてを学び、議場へ。

まずは、傍聴席から議員が模擬審議の討論や採決を行っている様子を見学。次に議長席に入り、議員の席や議長席に座るなどして体験。その後、模擬審議に対する採決を、実際に押しボタン表決システムを使って採決。

その後は、古賀市に対する要望や希望を出し合い、真剣に古賀市の将来を考えていました。

皆、とても積極的で、将来必ず選挙に行くという小学生もいました。また、この中から、将来議

員になる子どもたちも出てくれるのでは、頼もしい小学生の、議場見学会でした。



第4回定例会の傍聴者は45人でした。ありがとうございます。

第1回定例会は2月26日（水曜日）開催予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



## 令和2年 古賀市議会 第1回定例会会期日程（案）

会期 2月26日～3月25日 29日間

日	曜	会議名
2/26	水	本会議（初日）
3/2	月	本会議（2日目）
3	火	常任委員会
4	水	常任委員会
5	木	常任委員会
6	金	補正予算審査特別委員会
9	月	予算審査特別委員会
11	水	予算審査特別委員会
12	木	予算審査特別委員会
16	月	予算審査特別委員会
18	水	一般質問
19	木	一般質問
23	月	一般質問 予算審査特別委員会
25	水	本会議（最終日）

開議時刻は全て9時30分～

注)会期日程は、2月21日（金）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。  
 ◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会談録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。  
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。  
 （本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です）  
 ◎請願書の締切りは2月19日（水）午後5時です。

古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。



## 表紙の言葉

令和2年1月12日、古賀市消防出初式が開催。粕屋北部消防署員、古賀市消防団員のきびきびとした行動は、災害から市民の安心・安全を守る。

## 編集後記

3期目で初めて議会編集委員になりましたが、議会が終わって、ほっと一息つく間もなく、編集作業に入ります。大変さもあります。大変さもありますが、議案審議や一般質問を振り返る良い機会となり、自分自身も大変勉強になります。今後も編集委員一同、協力しながら、市民の皆さんにさらに見やすく、親しまれる紙面づくりに取り組んでまいりますので、よろしく願います。

（清原）

## 議会報編集常任委員会

委員長 福崎トビオ  
 副委員長 平木 尚子  
 委員 清原 哲史  
 内平 晃二  
 竹下 司津男  
 紙谷 由香

